

ライブワーク株式会社

2021年度 環境経営レポート

対象期間 2021年10月～2022年9月



発行日 2022年10月24日

□ 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

ライブワーク株式会社
代表取締役 延平直幹

(2) 所在地

〒721-0952
広島県福山市曙町3丁目23-18
TEL 084-954-2165
FAX 084-954-2206
E-mail livework@abeam.ocn.ne.jp

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名

専務取締役 高橋正臣
統括部長 那須大樹

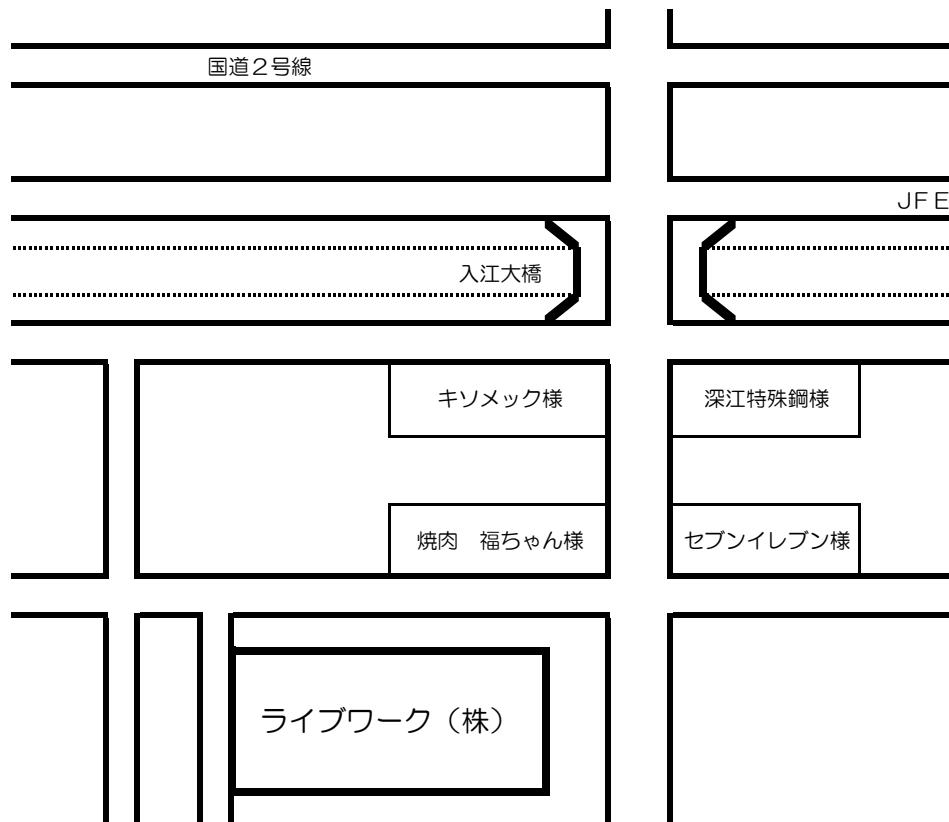
(4) 事業内容（エコアクション21認証範囲）

工作機械・電気・自動車部品への金属表面処理メッキ加工

(5) 事業年度

10月～翌9月

□ アクセス



ライブワーク株式会社

環境方針

当社は自然の恵み豊かなもの造り盛んな福山市において、工作機械、電気、自動車部品への金属表面処理メッキ加工を主とする事業活動を行っています。『卓越なる技術と卓越なる品質・納期管理により第2次産業及び地域社会の発展に貢献します』の社是のもと、その事業活動を積極的にアピールし継続的な顧客開発を実施していきます。

環境負荷の低減を図るために、環境経営目標を定めて計画的に実施及び見直しを行い、システムの運営を展開することにより、環境への取り組みを全従業員一丸となって自主的・積極的に推進し、継続的に改善します。

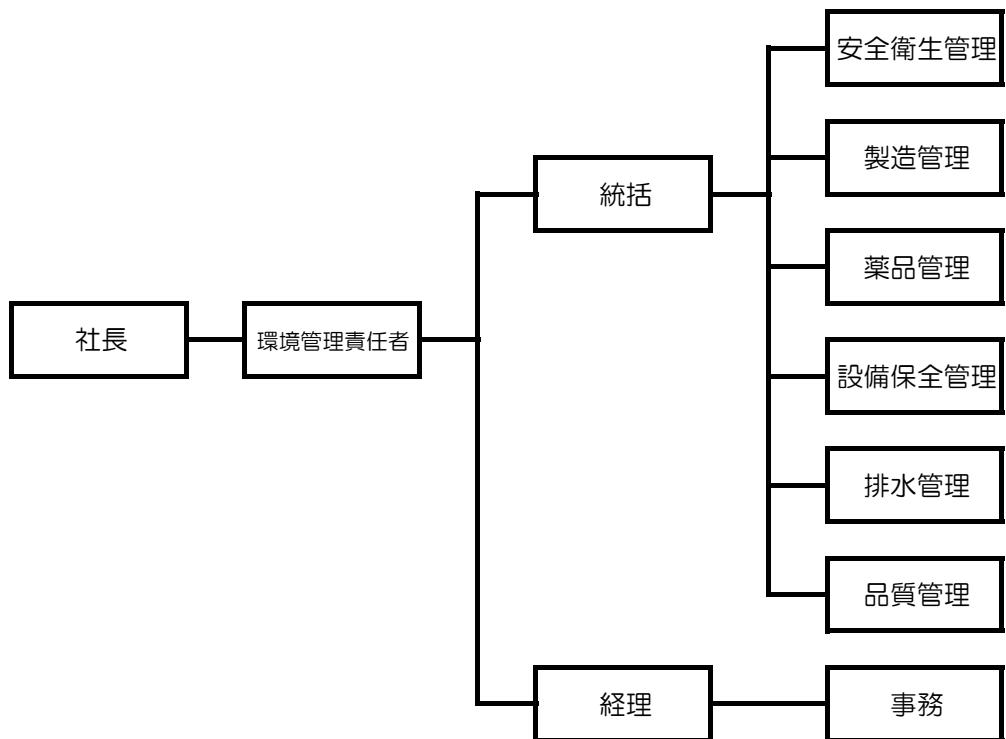
1. 環境関連法規則や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素の排出量の削減を推進します。(電気、ガソリン、軽油、重油、LPG)
3. 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用（リサイクル）を推進します。
4. 水道使用量の適正管理を推進します。
5. 化学物質使用料の適正管理を推進します。
6. 製造不具合の削減を推進します。
7. 有害物質を含まないメッキ処理など、製品への環境配慮を推進します。
8. 会社周辺の地域美化活動を推進します。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2018年10月

株式会社ライブワーク
代表取締役 延平 直幹

□ 実施体制

(1) 環境経営組織図



(2) 役割分担

担当者	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none">・環境経営の統括責任者・経営資源及び費用の準備・環境管理責任者の任命・環境方針の策定、見直し及び従業員への周知・環境目標及び環境活動計画書の承認・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者・環境目標・環境活動計画の代表者へ報告承認・環境活動の実施状況と結果を代表者へ報告・全社員への周知、教育と訓練・環境経営レポートの策定承認と代表者への報告・問題点の発見、是正、予防処置の実施・環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施・環境活動のデータ収集と実績まとめ・環境関連法規等取りまとめと遵守状況のチェック・環境関連の外部コミュニケーションの窓口・環境経営計画の実施及び達成状況の報告・手順書作成及び運用管理・緊急事態への対応準備、試行及び訓練結果の取りまとめ・教育・訓練実施、記録の作成
全社員	<ul style="list-style-type: none">・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚・環境経営システムの実施、運用・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 環境目標と実績・評価

目 標	年 度	2017年度	2021年度		評価	
		2017年10月～ 2018年9月	2021年10月～2022年9月			
		基準年度実績	目標	実績		
二酸化炭素排出量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	kg-CO2	309,408	297,032	305,423	×	
	対基準		△ 4 %	△ 1.3 %		
電力使用量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	kWh	177,508	170,408	154,064	○	
	kg-CO2	123,191	118,263	106,920		
	係数 0.694	対基準	△ 4 %	△ 13.2 %		
LPG使用量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	kg	6,850	6,576	7,550	×	
	kg-CO2	20,550	19,728	22,650		
	係数 3.00	対基準	△ 4 %	10.2 %		
ガソリン使用量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	L	1,032	991	1,020	×	
	kg-CO2	2,394	2,298	2,366		
	係数 2.32	対基準	△ 4 %	△ 1.2 %		
軽油使用量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	L	2,782	2,671	2,959	×	
	kg-CO2	7,178	6,890	7,634		
	係数 2.58	対基準	△ 4 %	6.4 %		
重油使用量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	L	57,600	55,296	61,200	×	
	kg-CO2	156,096	149,852	165,852		
	係数 2.71	対基準	△ 4 %	6.3 %		
水使用量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	m³	8,066	7,743	6,448	○	
	対基準		△ 4 %	△ 20.1 %		
産業廃棄物排出量 2017年度を基準に毎年1%ずつ削減する	kg	11,340	10,886	9,610	○	
	対基準		△ 4 %	△ 15.3 %		
一般廃棄物排出量 2017年度を基準に維持する	回	6	6	4	○	
化学物質の適正管理	管理	適正管理	適正管理	適正管理	○	
製品不具合	回	10	10	0	○	
製品への環境配慮提案	回	2	2	3	○	
地域美化	年	1	1	1	○	

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の平成28年度実績の調整後排出係数
※○：目標達成、×：目標未達

□ 環境活動計画の実績・取組結果の評価、並びに次年度の環境目標・環境活動計画

2021年10月～2022年9月

◎よくできた ○ますますできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	達成状況	取組結果の評価
電力使用量の削減		
空調温度の適正化(冷房28℃暖房19℃)	○	事務所、休憩室の温度管理を徹底した。
サーチュレーターの設置	○	事務所に設置した。
不要照明の消灯	○	事務所、休憩室の不要照明を徹底した。
設備の空転禁止	○	工場の休憩中などの空転の禁止を徹底した。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
ガソリン・軽油使用量の削減		
エコドライブ	○	エコドライブを徹底した。
不要なアイドリングストップ	○	アイドリングストップを徹底した。
効率的な移動	○	無駄をなくした運転を徹底した。
※仕事量が増えて軽油の環境目標は未達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
LPG・重油使用量の削減		
作業の効率化	○	計画的な作業を徹底した。
品質向上活動	○	基本手順を徹底した。
※仕事量が増えてLPG・重油の環境目標は未達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
産業廃棄物・一般廃棄物の削減		
作業の効率化	○	計画的な作業を徹底した。
品質改善活動による不具合の削減	○	品質改善活動を継続した。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
水道使用量の削減		
節水の周知徹底	○	不要な水の節水を徹底した。
清掃時・手洗い時の節水	○	節水の意識を徹底した。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
化学物質使用量の適正管理		
化学物質使用量実績調査	○	在庫管理を徹底した。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
製品不具合の削減		
品質改善活動による不具合の削減	○	品質改善活動を継続した。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
有害物質を含まないメッキ処理など、製品への環境配慮提案		
薬品メーカーからの情報収集	○	薬品メーカーとの勉強会を実施した。
お客様への提案	○	お客様への提案活動を推進した。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		
地域美化		
近隣清掃の実施	○	近隣清掃は実施できた。
※環境目標は達成。次年度も環境目標・環境活動計画は継続して実施する。		

□ 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

2021年10月～2022年9月

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	評価
公害防止組織整備法	特定工場の公害防止統括者・公害防止管理者の選任と届け出	遵守
水質汚濁防止法	公共用水域への排水水の排水基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定を記録、事故時の届出	遵守
下水道法	公共下水道を使用して下水を排水する特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	遵守
廃棄物処理法	表示、保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
騒音規制法	特定施設の届出	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品（フロン類を使用した業務用のエアコン）の簡易点検	遵守
消防法	危険物の指定数量管理	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守

※関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

□ 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の継続により今年度も社員全員が節電、節水など節約の意識が高まり非常に評価できたと感じられます。

環境目標では、電気・水道・ガスなど仕事料の向上により使用量が増え前年度より削減が一部未達成もありましたが、光熱費の料金値上げなどがあり、社員一同さらなる節約の意識を持ち仕事をしております。

エコアクション21を取得してから光熱費などの使用量が数値化ができ前年度と比較できるようになり大変満足しております。

今後も光熱費の値上げにより経費削減をさらに強化しなければならないので、それには社員のほんの少しの削減の意識が必要になると考えています。